

急変対応コース

研修目的	患者の状態変化・急変の気づきにより、急変対応の質向上を図る			
到達目標	1. 急変時の看護の特徴、役割がわかる 2. 急変患者の初期評価、対応ができる 3. フィジカルアセスメントを用いて急変患者の全身状態を観察できる 4. 観察結果をアセスメントし、報告できる			
開催日時 研修時間	・ 2022 年 6 月～9 月の第 2 火曜日 17:45～19:15 1 回 90 分			
受講対象	ラダークリニカルレベルⅡ以上の者 【定員 20 名】			
開催日 開催場所	ねらい	内容	講師	前年度 相当回
第 1 回 6 月 14 日 B 館 11 階食堂	急変の前兆を知ることができ、急変時看護の違いがわかる	・ オリエンテーション ・ 急変の前兆 ・ 急変時医療と看護の特徴 ・ 急変時の看護師の役割 ・ 急変時の報告方法 (ISBARC)	救急看護 CN 皆川 紘子 小児救急看護 CN 鈴木 美保	第 1, 2 回
第 2 回 7 月 12 日 臨床研修センター	急変の前兆、初期評価と対応がわかる	・ 急変時の初期評価 (ABCDE アプローチ) と対応 ・ 挿管準備、介助	救急看護 CN 皆川 紘子 小児救急看護 CN 鈴木 美保	第 2, 5 回
第 3 回 8 月 9 日 B 館 11 階食堂	急変患者のアセスメントの視点、対応方法がわかる	・ ショックとは ・ 輸液管理	救急看護 CN 皆川 紘子 小児救急看護 CN 鈴木 美保	第 3 回
第 4 回 9 月 13 日 B 館 11 階食堂	急変患者の対応方法ができる	・ シミュレーション	救急看護 CN 皆川 紘子 小児救急看護 CN 鈴木 美保	第 7 回
コース担当者	救急初療看護科 皆川(内線：2199) 5B 小児病棟看護科 鈴木(内線：2500)			
備考	・ 受講前に確認テストをすることがあります。 ・ コース終了時、最終課題があります。			